要約練習用文献リスト

新井紀子 (2018). 『AI vs. 教科書が読めない子どもたち』東洋経済新報社
バトラー後藤裕子 (2015). 『英語学習は早いほど良いのか』岩波新書
藤永　保 (2001). 『ことばはどこで育つか』大修館書店
羽生善治 (2005). 『決断力』角川書店
橋本健二 (2018). 『新・日本の階級社会』講談社新書
一川　誠 (2016). 『時間の使い方を科学する』PHP 新書
市川伸一 (2013). 『勉強法の科学—心理学から学習を探る』岩波書店
飯山　陽 (2021). 『イスラム教再考』扶桑社 BOOKS 新書
池上　彰 (2002). 『大人も子どももわかるイスラム世界の「大疑問」』講談社＋新書
池上　彰 (2007). 『そうだったのか！現代史』集英社
池上　彰、佐藤　優 (2015). 『大世界史—現代を生き抜く最強の教科書』文芸春秋
池谷裕二 (2006). 『脳はなにかと言い訳をする』祥伝社
池谷裕二 (2012). 『脳には妙なクセがある』扶桑社
池谷裕二 (2013). 『単純な脳、複雑な「私」』講談社
今井むつみ (2016). 『学びとは何か—＜探究人＞になるために』岩波新書
門倉貴史 (2010). 『本当は嘘つきな統計数字』幻冬舎新書
苅谷剛彦　(2012). 『アメリカの大学・ニッポンの大学』中公新書ラクレ
苅谷剛彦　(2012). 『イギリスの大学・ニッポンの大学』中公新書ラクレ
苅谷剛彦　(2020). 『コロナ後の教育へ—オックスフォードからの提唱』中公新書ラクレ
刈谷剛彦、増田ユリヤ (2006). 『欲ばり過ぎるニッポンの教育』講談社現代新書
加藤陽子 (2009). 『それでも日本人は「戦争」を選んだ』朝日出版社
河合雅司（2017). 『未来の年表—人口現象日本でこれから起きること』講談社新書
北野良子 (2017). 『論理的思考力を鍛える 33 の思考実験』彩図社
児玉光雄 (2006). 『なぜモーティベーションが上がらないのか』ソフトバンク新書
久保田竜子 (2018). 『英語教育幻想』ちくま新書
久米昭元、長谷川典子 (2007). 『ケースで学ぶ異文化コミュニケーション』有斐閣
前野ウルド浩太郎 (2017). 『バッタを倒しにアフリカへ』光文社新書
前坂俊之 (2010). 『明治三七年のインテリジェンス外交』祥伝社
正高信男 (2003). 『ケータイを持ったサル—「人間らしさ」の崩壊』中公新書
メイナード、K. 泉子 (2009). 『ていうか、やっぱり日本語だよね。』大修館書店
森島泰規 (2015). 『なぜ外国語を身につけるのは難しいのか』勁草書房

内藤正典 (2012). 『イスラームから世界を見る』ちくまプライマリー新書
中村圭志 (2010). 『教養として学んでおきたい５大宗教』マイナビ新書
中田　考 (2017). 『イスラーム入門』集英社新書
行方昭夫 (2014). 『英会話不要論』文春新書
中室牧子、津川友介 (20117). 『原因と結果の経済学』ダイヤモンド社
21 世紀研究会 (2003). 『色彩の世界地図』文藝春秋
西林克彦　(2005). 『わかったつもりー読解力がつかない本当の原因』光文社新書
西野仁雄 (2008). 『イチローの脳を科学するーなぜ彼だけがあれほど打てるのか』冬幻舎
岡田昭人 (2019). 『オックスフォードの学び方』朝日文庫
岡田斗司夫 (2007). 『「世界征服」は可能か？』ちくまプライマリー新書
岡本浩一 (2002). 『上達の法則—効率のよい努力を科学する』PHP 新書
斎藤　孝 (2001). 『「できる人」はどこがちがうのか』ちくま新書
斎藤　孝 (2006). 『質問力』ちくま文庫
斎藤　孝 (2006). 『段取り力』ちくま文庫
斎藤　孝 (2015). 『語彙力こそが教養である』KADOKAWA
酒井邦嘉 (2011). 『脳を創る読書』実業之日本社
三森ゆりか (2003). 『外国語を身につけるための日本語レッスン』白水社
更科　功 (2018). 『絶滅の人類史—なぜ「私たち」が生き延びたのか』NHK 出版
佐々木紀彦 (2011). 『米国製エリートは本当にすごいのか？』東洋経済新報社
渋谷昌三 (2014). 『電車の中を 10 倍楽しむ心理学』育鵬社
白井恭弘　(2008). 『外国語学習の科学—第二言語習得論とは何か』岩波新書
橘木俊詔 (2010). 『灘校—なぜ日本一で有り続けるのか』光文社新書
谷口一郎　(2007). 『データはウソをつく—科学的な社会調査の方法』ちくま書房
竹内　薫 (2006). 『99.9%は仮説—思い込みで判断しないための考え方』光文社新書
竹内　理 (2007). 『達人の英語学習法—データが語る効果的な外国語習得法とは』草思社
瀧本哲史 (2011). 『僕は君たちに武器を配りたい』講談社
瀧本哲史 (2016). 『ミライの授業』講談社
寺沢拓敬 (2015). 『日本人と英語の社会学』研究社
外山滋比古 (1986). 『思考の整理学』ちくま文庫
山岸俊男、M.C. ブリントン (2010). 『リスクに背を向ける日本人』講談社新書
吉田新一郎 (2006). 『テストだけでは測れない！—人を伸ばす「評価」とは』NHK 出版
好井裕明 (2006). 『「あたりまえ」を疑う社会学—質的調査のセンス』中公新書